



Yoshie Nishikawa, 太鼓を敲く男 2016

西川よしえ写真展「もののあわれ」

日時 2018年4月7日(土)～5月20日(日)

会場 京都市中京区河原町御池 京都ホテルオークラ 2階回廊

西川よしえ「もののあわれ」写真展

ミラノを拠点に世界的に活躍している写真家の西川よしえ氏の写真展「もののあわれ」が京都ホテルオークラ創業130周年記念として、4月7日から5月20日まで開催される。イタリアに在住してから長い年月を経た西川氏。その中で、日本人としての美意識はより強く洗練されていったという。今回の写真展は、長きにわたり西川氏が追求している「もののあわれ」がテーマだ。モノの変わりゆくさま、未完で永続性のない不完全な美をめで、目に見えない世界、わびさびの境地を表現している。

作品の被写体は、忘れ去られた25体の人形だ。これをプラチナプリントで再現したモノクローム写真に仕上げた。被写体となった人形たちは、85歳になる西川氏の母親が、結婚当時から一つひとつ集めたもの。特別な収集家でもなければ、その由来や特徴性など一貫性はないが、日常にしっかりと存在し、50年以上を共に生きてきた。ある日、母親から「処分しようと思う」と告げられた。それに衝撃を受けた西川氏は、家族であった証しとして、人形たちのポートレイトを撮ることにしたという。

人形でなくても、私たちの生活の中には、こうした存在があるのではないか。人それぞれにそう訴えかけてくる興味深いテーマの写真展である。ぜひ、この機会に足を運んでみてはいかがだろうか。